

ふれあいサイクリイベント

【NPO 法人サイクルボランティア・ジャパン】

ねらい

サイクル活動を通して、障がいのある人とボランティアの相互交流を深める。

いつ

平成 30 年 4 月 14 日(土)・15 日(日)

どこで

中海周辺 (一部、鳥取県)

だれが

- ・心身に障がいのある人：32 名
- ・ボランティア及びスタッフ：67 名

なにを

14 日(土)

中海周辺の観光地を見学、宿泊

15 日(日)

- ・美保関灯台散策
- ・江島までサイクリング
(タンDEM自転車、レンタサイクル)



工夫

- ・野外活動 (サイクリング) だけでなく、地元の観光や交流会などを実施。
- ・沿道に誘導表示看板 (14 枚) 設置、道路案内誘導員 (10 人) 配備、松江警察署から走行に関する訓示、障がい者団体の役員を招いた開会式の開催。
- ・移動中 (車中) において視覚障害、生活就労支援等についてミニ講習会を実施。

期待

- ・障がいの有無にかかわらず、参加者が増える。
- ・交流によって障がいに対する理解が深まり、共に活動する機運が高まる。

今後

- ・交流の輪を広げ、全国各地で本イベントを開催。
- ・荒天時の実施判断や実施方法、初心者への配慮等について関係者で検討。



障害がある、ないに関係なく、お互いに思いやりの気持ちをもって活動していただきました。とても温かな雰囲気、笑顔に満ちていました。

主催者：女性

どうぶひは、あめではしれませんでした。にちようぶひは、はしれてよかったし、かぜがさむかった。さいごまではしれてうれしかったです。また、らいねんもさんかしたいです。

参加者：男性

普段できない、障がいのある方と寝食を共にし、サイクリングをするという経験は、今後の息子の成長に繋がると思いました。誰もが少しの優しさや気遣いがあれば、どんな人も過ごしやすい世の中になるのではないかと、改めて勉強させてもらった次第です。

参加者：女性 (保護者)